

# BOM for Windows Ver.8.0 WSUS 状態レポート ユーザーズマニュアル

#### 免責事項

本書に記載された情報は、予告無しに変更される場合があります。セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に関してい かなる種類の保証(商用性および特定の目的への適合性の黙示の保証を含みますが、これに限定されません)もいたし ません。

セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に含まれた誤謬に関しての責任や、本書の提供、履行および使用に関して偶発 的または間接的に起こる損害に対して、責任を負わないものとします。

#### 著作権

本書のいかなる部分も、セイ・テクノロジーズ株式会社からの文書による事前の許可なしには、形態または手段を問わず決して複製・配布してはなりません。

#### 商標

本ユーザーズマニュアルに記載されている「BOM」はセイ・テクノロジーズ株式会社の登録商標です。また、本文中の 社名、製品名、サービス名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

なお、本文および図表中では、「TM」(Trademark)、「(R)」(Registered Trademark)は明記しておりません。

#### 目次

本書について

- 製品表記
- 使用方法
- 環境説明

第1章 概要

第2章 システム要件

- 第3章 出力内容
- 第4章 設定方法
  - 1. WSUSreport.zipファイルの解凍
  - 2. 監視設定のインポート
  - 3. WSUSレポート作成アクションの実行ファイル指定
  - 4. WSUSレポート送信アクションのメールアドレス設定
  - 5. 実行方法とスケジュール
- 第5章 レポートの説明
  - 1. 状態の概要
  - 2. ドライブ状態
  - 3. サービス状態

## 製品表記

本書では、以下の製品について略称を使用しています。

正式名称	本マニュアルでの呼称(略称)
BOM for Windows Ver.8.0	BOM 8.0

### 使用方法

本書には、BOM 8.0の「WSUS状態レポート」について、詳細な情報と利用手順が記載されています。

- BOM 8.0のインストールに関しては'BOM for Windows Ver.8.0 インストールマニュアル'を参照してください。本 書はインストールが正常終了した後の実際の使用方法について記述しています。
- このユーザーズマニュアルを使用するには、Microsoft Windowsオペレーティングシステムについての実践的な知識 が必要です。
- 本書に更新・訂正などが生じた際は、弊社ウェブサイト上で情報を公開しますので、あわせて参照してください。

#### 環境説明

本書では、コンピューターの操作画面として、主にWindows Server 2016で取得した画像を使用しています。お使いの OS によって表示内容が若干異なる場合がありますが、適宜読み替えてください。

# 第1章 概要

本書はWindows Server Update Services (WSUS)に登録したコンピューター(WSUSクライアント)のセキュリティパッチの適用状態やWSUSのリソース状況レポートを作成するための設定書です。本設定書はBOMの監視設定の設定方法とレポート内容を記しています。

# 第2章 システム要件

本監視設定の動作条件は以下のとおりです。

- OS:BOM 8.0の動作要件に準じます。
- BOM 8.0がインストール済みで正常に動作していること
- Windows Server役割: Windows Server Update Servicesがインストールされていること

# 第3章 出力内容

本監視設定でメール送信されるレポート内容は以下のとおりです。

詳細は'レポートの説明'を参照してください。

- WSUSクライアントのセキュリティパッチのインストール状況
- WSUSのリソース状況
  - 1. ドライブの空き容量
  - 2. サービスの稼働状態

#### 1. WSUSreport.zipファイルの解凍

BOMインストールメディア内の以下のzipファイルを解凍し、任意のディレクトリに保存します。

• 以降の手順例では、解凍したフォルダーをCドライブのルートディレクトリに保存しています。

[BOM インストールメディア]¥TOOLS¥Report¥WSUSreport¥WSUSreport.zip

#### 2. 監視設定のインポート

- 1. BOM 8.0 マネージャーを起動し、対象の監視インスタンスを右クリックします。
- 2. メニューから"監視設定のインポート"を選択します。
- 3. 「1. WSUSreport.zipファイルの解凍」で保存したフォルダー内に格納されている以下のファイルをインポートします。

WSUS正常性レポート.cab

### 3. WSUSレポート作成アクションの実行ファイル指定

レポート作成するための実行ファイルの指定を行います。

- 1. BOM 8.0 マネージャーで、対象の監視インスタンス→"監視"ノード→"WSUS正常性監視"を順に展開します。
- 2. "WSUS Service監視"をクリックし、リザルトペインに表示された"WSUSレポート作成"をダブルクリックします。
- 3. WSUSレポート作成のプロパティでは"設定"タブを開きます。
- 4. [参照]ボタンをクリックし、「1. WSUSreport.zipファイルの解凍」で保存したフォルダー内に格納されている以下のファイルを指定します。

wsusrep.bat	

- ☆ WSUSレポート作成のプロパティ × 全般 実行条件 設定 プログラム名(P): C:¥WSUSreport¥wsusrep.bat 参照<mark>(B)</mark>.... 変数の挿入<mark>(V)…</mark> 引数(R): \$(DataDir)¥Environment¥Instance¥\$(InstanceName)¥Log 変数の挿入<mark>(I)</mark>... 補助設定<mark>(C</mark>)... \$(Status)などの予約済み変数は使用できません。 テスト(1)... OK キャンセル 適用(<u>A</u>)
- 下図の例では"C:¥WSUSreport¥wsusrep.bat"になっています。

5. 他の項目は変更せず、[OK]ボタンをクリックします。

### 4. WSUSレポート送信アクションのメールアドレス設定

レポートはBOM 8.0のメール送信機能を使用し、メールに添付して送信します。

- メール送信にはSMTPサーバー設定があらかじめ必要です。SMTPサーバーの設定方法については、'BOM for Windows Ver.8.0 ユーザーズ マニュアル'で「SMTP 情報の設定」を参照してください。
- メール送信アクションの詳細については、'BOM for Windows Ver.8.0 ユーザーズ マニュアル'を参照してください。
- 1. BOM 8.0 マネージャーで、対象の監視インスタンス→"監視"ノード→"WSUS正常性監視"を順に展開します。
- 2. "WSUS Service監視"をクリックし、リザルトペインに表示された"WSUSレポート送信"をダブルクリックします。
- 3. WSUSレポート送信のプロパティでは"設定"タブを開きます。
- 4. "宛先アドレス"欄に、送信先のメールアドレスを設定します。

💷 WSUSレポート送信	<b>言のプロパティ</b>	×
全般 実行条件 □SMTP サーバー選	設定 添付/埋め込みファイル	
	ー 1( <u>O)</u> の SMTP サーバー2( <u>T</u> )	
SMTP サーバー:	say-tech.co.jp	
送信元:	ooytechdano∦ychea.∞dp	
宿告マドレスのいい(の	l user 1@mailserver user 2@mailserver	
xxxxxxx@say-tec	h.co.jp	^
		~
\$(InstanceName)	\$(GroupName)通知	
メッセージ <b>(</b> <u>M</u> ):		
WSUSレポートを送	信します。	~
<		>
	変對	(の挿入(⊻)
	OK キャンセル	適用( <u>A</u> )

5. 他の項目は変更せず、[OK]ボタンをクリックします。

## 5. 実行方法とスケジュール

監視サービスを実行すると、定期的にWSUSレポートがメール送信先に送付されます。

スケジュールの設定は監視項目"WSUS Service監視"の監視間隔で設定しており、規定値の設定では金曜日の朝6時に毎 週メール送付されます。

曜日、時刻を変更する場合は"WSUS Service監視"のプロパティで、「開始時刻」を変更してください。

• 設定の詳細は'BOM for Windows Ver.8.0 ユーザーズ マニュアル'を参照してください。

🎭 WSUS Se	rvice 監視のプロパティ X	
全般設	定	
<b>\$</b> 3	名前(N):	
ום@: אראב: אראב:	GRP01MON01	
間隔(⊻):  開始時刻:	7 日 ~ ○サービスの開始直後(M)	
	<ul> <li>●指定時刻①: 2020/04/17 ■</li> <li>● 監視間隔を固定する(K)</li> <li>■ 監視予定時刻を過ぎた場合に臨時実行する(R)</li> </ul>	
監視予定時刻に監視サービスが停止していた場合、 監視サービス起動直後に臨時で監視を実行します。 		
	OK キャンセル 適甲(A)	

# 第5章 レポートの説明

出力されるレポートの各項目の内容は以下のとおりです。



#### 1. 状態の概要

WSUSに登録された各コンピューターの情報をレポートします。WSUSに登録されたコンピューターがない場合、本項 目は表示されません。

- グループ名: WSUSに登録した所属するグループ名
- コンピューター名: WSUSに登録したコンピューター名
- OS名:該当のコンピューターのOS
- 最後に報告された状態の日時:前回の状態レポート取得した日時
- インストールに失敗:エラーが発生した更新プログラム数
- インストールされていない:必要な更新プログラムでインストールされていない更新プログラム数
- インストール済みか、または該当しない:インストール済みまたは該当しない更新プログラム数
- インストールの状態が不明:状態が報告されていない更新プログラム

## 2. ドライブ状態

WSUSのディスク容量を示します。

## 3. サービス状態

WSUSが正常稼働するのに必要なサービスの状態を表示します。

#### BOM for Windows Ver.8.0 WSUS 状態レポートユーザーズマニュアル

2022年05月09日 初版

著者・発行者・発行 セイ・テクノロジーズ株式会社

バージョン Ver.8.0.0.0

(C) 2022 SAY Technologies, Inc.